

扇風機からの出火

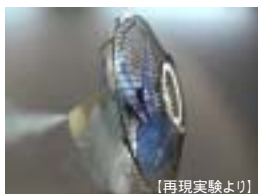
事故の概要

【事故例1】 2階の部屋で扇風機を使用中に異臭がしたため見てみると、扇風機から出火していた。フローリングの床の一部を焼損し、室内の壁に煤が付着した。

【事故例2】 使用中の扇風機から出火して下に敷いていたゴザと畳が焼損し、消火の際、足にやけどを負った。

事故の原因

どちらの事故も約30～40年の長期使用により、コンデンサーが絶縁劣化を起こし、温度が異常に上昇したコンデンサーから可燃性ガスが噴出。そのガスが発火してモーター部の樹脂製カバーに着火したものです。



【再現実験より】
コンデンサーから噴き出す可燃性ガス



【再現実験より】
発火した扇風機



燃えた扇風機



事故防止のために

長年使用している扇風機は、火災等の事故につながる恐れがあります。

【安全チェックポイント】

モーターがうなるような異常な音がする
こげ臭いにおいがする
モーターが異常に熱い
スイッチを入れても羽根が回転しない
羽根の回転が遅い
回転がぶれる



1つでも該当する場合、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店、メーカー等に連絡してください。